

民主島根

2018年
6.3
第1312号

発行所 松江市袖師町3-6 TEL 0852-24-2444
日本共産党島根県委員会 FAX 0852-24-6369

安全な原発などあり得ない 「原発ゼロ」の決断を

県議団、松江・出雲・雲南の市議が知事に要請

日本共産党県議団は5月18日、中国電力が島根原発3号機の新規稼働をすすめるため、原子力規制委員会への適合性確認審査申請の事前了解願いを5月22日に県と松江市に申し入れると公表(16日)したことを受け、溝口善兵衛知事に対し、「原発ゼロ」を決断するように要請しました。松江、出雲、雲南の各市議ら8人が「島根原発2号機の再稼働はもとより、3号機の新規稼働など論外だ」と迫りました。参加者は「原発稼働のプロセスとなる3号機の事前了解願いは受け付けず、了承すべきではない」と強調しました。山口和志防災部長は、事前了解願いについて



県に申し入れる尾村、大国の両県議ら(5月18日=写真上) 金曜日行動実行委のメンバーも要請(5月24日=写真右下)



「2号機と同様に県議会や住民の方々の意見をよく聞いて対応したい」と答えました。尾村利成、大國陽介両

大田 大平氏が地震被災者と懇談

日本共産党の大平喜信前衆院議員は5月17日、4月9日に震度5強の地震が発生した大田市を訪れ、被災者らと懇談しました。亀谷優子市議、福田佳代子前市議が同席

県議は「技術的に未完成な原発からの撤退こそ、県民の命と安全を守る確かな道だ」と訴えました。(2面に関連記事)



津選 多田、森川両氏 2議席確保 江市 公約実現に全力挙げる

伊藤和雄さん(67)は「屋根瓦が飛び散った。修繕に200万円かかった」と指摘。県と各市町村が提携して支援金を出す県の被災者生活再建支援制度にふれ、「県と市が満額(100万円)を支給してくれたが、それだけでは不十分です」と訴

えました。大平氏は「国の支援の拡充が必要。みなさんの



「八束の明日を考える会」(藤井伸士会長)が5月19日、松江市八束町で集会を開きました。橘祥朗市議、尾村利成県議が議会報告し、保母武彦・島根大学名誉教授が地域づくりについて報告し、懇談しました。(写真)尾村氏は、中国電力の島根原発2、3

八束町、宍道町でつどい 尾村県議・松江市議参加

号機の稼働問題は県民の未来がかかった課題と述べ、安心して暮らせる島根をつくるためにみなさんと力を合せて頑張りたいと訴えました。保母氏は「八束町は町おこしを実践している人が多い。希望に満ちた地域の将来像を一緒に考えたい」と激励しました。5月17日には党宍道支部が「党を語る集い」を開き、尾村県議、吉儀敬子市議が森友・加計疑惑や原発、党名問題について語りました。党外の人を含む20人が参加し、和やかに懇談しました。

江津市議選(定数16)が5月27日投票され、日本共産党の多田伸治氏(43) 現Ⅱ、森川佳英氏(61) 現Ⅱの2氏がともに当選しました。(写真) 議席占有率は12.5%(前回・同)。開票結果は次の通りです。
多田 伸治(現) 848票・8位
森川 佳英(現) 774票・11位

原発ゼロをめざす島根の会 総会 & 記念講演
とき 6月24日(日) 13:30~16:00(予定)
ところ 県教育会館・4階会議室(松江市母衣町)
講演 原発問題住民運動全国連絡センター 柳町秀一氏
主催 原発ゼロをめざす島根の会

鼓動

今回も山田洋次監督の鋭く優しい人間観察と計算しつくされたカメラワークを堪能できた。映画「妻よ薔薇のように」家族はつらいよ曰「は、監督自身が「主婦への讃歌」と言うように、主婦の大変さを実感させられた▼物語は、妻が忙しい家事の合間にちよつとうたた寝をした間に泥棒に入られ、妻のへそくりが盗まれたことから急展開する。出張から帰った夫は「俺があくせく働いているのに、お前は昼寝か!」「俺の稼いだ金をピンハネしてへそくりとは…」とののしる。日頃から不満がうっ積していた妻は、ついに家出▼残された家族は大騒動に。洗濯、炊事、そうじ、子どもの面倒など何一つまともに出来ない男たちのふがいなさやコミカルかつリアルに描く。そして、ボヤ騒ぎまで起きる。気づいたら、肩をすぼめて映画を見ている男の自分がいた▼山田監督は「日本の働き盛りの男たちは、いまだに主婦の苦勞を心に染みるほどは理解していませんね…この国は依然として男尊女卑。なぜ女性の地位が圧倒的に低いままなのか、もうちよつと真剣に考えないとね」と言う。最近わが国を騒がせた、土俵への女人禁止やセクハラ問題などが頭をよぎる▼家族間の小気味よい丁々発止のやりとりと「あるある」シーンの連続について引き込まれていくのも、このシリーズの見せ場である。要所で「籠の鳥」が登場するのも憎い演出だ。さらに表題になったバラの花が意外な形で現れる。ハッピーエンドに、「優しい気持ち」になって映画館を後にした。(吉)